

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	21	認知症症状の程度にも差があり、周辺症状の見られる認知症の方は他の入居者様から攻撃される事も多く、孤立しやすくなっていると思う。またそのことでご本人様も居心地悪く感じてしまっているのではないかと思う。その際は、職員が介入したりして支援しているが、支援の仕方1つで症状や環境も変化できるのではないかと思う。	認知症に対する心理的症状や行動、それらの背景を職員全員が正しく理解すること。認知症という病気をもっとよく知ること。それにより、支援の仕方にも幅ができ、孤立しやすくなる環境を変えることができる。	資格取得や、研修参加などへバックアップは行っているが、それに加えて認知症に対する理解を深める為に勉強会などを実施し、職員全体のスキルアップを目指していく。	6ヶ月
2	26	計画作成時、モニタリング時と計画作成担当者を中心に介護職員から聞き取りを行い、現場の声を取り入れ行っているが、職員一人ひとりが積極的にケアプラン検討やモニタリング等を行っていない。現在は受身のケアである。	計画作成担当者以外にも職員に入居者様を担当してもらい、アセスメント、計画作成、モニタリング等積極的に関わりをもてるようにする。そうすることで自分自身のケアの振り返りにも繋がっていける。	まず、職員に一連の流れや介護保険のあり方などを知ってもらい、一緒に介護計画やモニタリングをする流れを作っていく。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。